

平塚海岸におけるアカウミガメの記録 3 例

浜口 哲一

Tetsuichi Hamaguchi :

Three Records of Loggerhead Turtle on the beach of Hiratsuka City

はじめに

かつての相模湾沿岸の砂浜には、アカウミガメ *Caretta caretta* が定期的に産卵に訪れていたというが、近年ではその上陸はごく稀なこととなり、神奈川県レッドデータ生物調査では絶滅危惧種に位

1985 年の漂着个体

1985 年 7 月に、平塚市龍城ヶ丘の海岸にアカウミガメの死体が打ち上がっているという市民からの通報があった(図 1)。この個体は甲長 83cm で、平塚市博物館に骨格標本として収蔵されている (HCM-51-812)。



図 1. 1985 年の漂着个体 (シートに乗せて撮影、背中にカメフジツボが付着しているの見える。)

1994 年の漂着个体

1994 年 8 月 2 日には、再び平塚市龍城ヶ丘の海岸で、打ち上がったアカウミガメの死体が、沢村泰彦氏によって発見された(図 2)。この個体は甲長 70cm で、平塚市博物館に剥製標本として収蔵されている (HCM-51-813)。

1996 年の孵化例

1996 年 10 月 11 日の早朝 7 時頃、小田原市在住の稲毛譲氏が、平塚市虹ヶ浜海岸を散策中に、仔ガメ約 30 匹が砂浜を歩いているのを見つけた。なぜか、海と反対側に向かっていたとのことで、仔ガメは氏によっ

置づけられている(神奈川県立生命の星・地球博物館, 1995)。

減少が著しいとはいえ、現在でもアカウミガメは相模湾に回遊してきていることは確実で、不定期に漂着个体や産卵例が報告されている。ここでは、1985 年以降に平塚市の海岸で記録された 3 例について報告する。なお、これらの記録は、既に平塚市博物館の展示解説書、ガイドブックなどに写真が取りあげられているが、自然誌的な引用には、本報を利用して頂きたい。

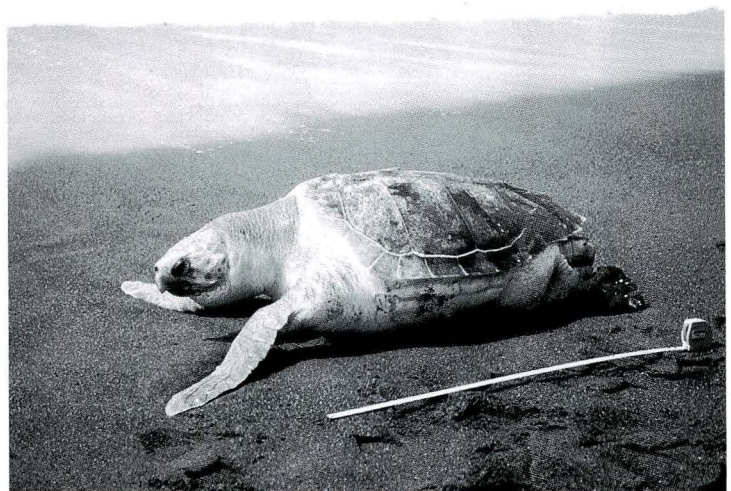


図 2. 1994 年の漂着死体。



図 3. 1996 年に発見された仔ガメ。

て保護され、海に放された。中の 1 個体は、その事実を記録に残す目的で警察に届けられたので、連絡を受けた筆者が確認の上、同日 9 時半に海に放した。図 3 は、その個体の写真である。

文 献

神奈川県立生命の星・地球博物館,1995. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 .257pp.

(平塚市博物館)